


ふりがな	こやすおおつぼいせき	
遺跡名	子易・大坪遺跡 (伊勢原市No.123遺跡)	
調査期間	20120816～継続中	
所在地	伊勢原市子易	
時代	縄文 弥生 古墳 奈良・平安 中世 近世	

更新日:平成25年7月1日

調査原因	中日本高速道路株式会社による新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財調査
遺跡位置	小田急小田原線伊勢原駅の北西3.8km、鈴川右岸の段丘上標高約110mの地点
主な調査成果	4区北で中世の屋敷跡を中心とした遺構群が見つかっています。建て替えが行われたものを含め5棟の掘立柱建物跡の他、厩跡(うまやあと)と見られる竪穴状遺構、石組遺構、溝状遺構などから成るもので、13世紀後半から14世紀代のもと考えられています。鎌倉時代後半から南北朝時代、大山山麓に大規模な屋敷を構える勢力が存在したことを示す重要な発見となりました。 この他、弥生時代初頭の土坑、縄文時代の敷石住居址や集石などが見つかっています。



▲ 調査区航空写真(左4区北 右5区)



▲ 中世 竪穴状遺構(厩跡か)



▲ 中世 掘立柱建物跡



▲ 屋敷北縁を区画する溝状遺構